

# 自己点検・評価報告書

(令和4年度事業分)

令和5年8月

松浦市教育委員会

※留意点

- 本報告書中の「評価」については、A…達成している、B…概ね達成している、C…達成していない、としています。
- 本報告書中の「教育委員会」とは「狭義の教育委員会(教育委員の合議体)」を意味します。

## 1 教育委員会及び教育委員の活動について

項 目		評価	活動内容 等
(1) 教育委員会会議の運営	① 会議の開催回数	A	○定例会を12回、臨時会を1回開催した。 臨時会…R5.2.24
(2) 市長との連携		B	○市長が設置した総合教育会議において、本市教育の現状等について意見交換を2回行った。 R4.8.31、R4.12.23 ・年度内3回の開催を計画していたが、2回となった。
(3) 教育機関等との連携	① 学校への訪問	A	○学校訪問として令和4年度は今福小学校を訪問した。 R5.2.24 ○入学式、卒業式、その他諸行事の折、各委員それぞれ各学校を訪問した。
	② その他施設への訪問	A	○長崎県立松浦高等学校との意見交換会を実施した。 松高みらい教育懇話会 第25回 R4.7.22 第26回 R5.2.21
(4) 教育委員の自己研鑽		A	○長崎県都市教育長協議会(4回開催、4/15～16長崎市、7/26～27佐世保市、11/16～17壱岐市、2/2～3西海市) ○5/11～12全国都市教育長協議会総会並びに研究大会(山口市) ○5/30令和4年度県市町教育委員会合同研修会(Web会議) ○10/31～11/1 令和4年度市町村教育委員会研究協議会(長崎市)

## 2 教育委員会が管理又は執行する事務について

項 目	評価	活動内容 等
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	A	○令和4年度松浦市教育方針及び松浦市教育努力目標 (R4.3.28 3月定例会で議決)
(2) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教職員たる校長の任免その他進退について内申すること	A	○教職員の人事内申に係る決定 (R5.2.24 2月臨時会で議決)
(3) 教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと	A	○規則・規程・要綱の制定改廃議案…18件 <b>【制定】</b> 1件 ・松浦市立水中考古学研究センター特別顧問の設置に関する要綱の制定 <b>【改正】</b> 14件 ・松浦市文化財保護条例施行規則の一部改正 ・松浦市立福島歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正 ・松浦市立埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正 ・松浦市スクールバスの管理及び運行に関する規則の全部改正 ・松浦市児童生徒等就学援助事務取扱要綱の一部改正 ・松浦市遠距離通学児童生徒通学費補助金交付要綱の一部改正 ・松浦市学校適応指導教室遠距離通級費補助金交付要綱の一部改正 ・松浦市離島高校生修学支援費補助金交付要綱の一部改正 ・松浦市立小中学校の通学区域に関する規則の一部改正 ・松浦市立小中学校処務規則の一部改正 ・松浦市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正 ・松浦市夜間照明施設管理条例施行規則の一部改正 ・松浦市教育委員会組織規則の一部改正 ・松浦市教育委員会処務規則の一部改正 <b>【廃止】</b> 3件 ・松浦市教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則の廃止 ・松浦市教育委員会告示で定める申請書等の押印の特例に関する告示の廃止 ・松浦市教育委員会訓令で定める申請書等の押印の特例に関する訓令の廃止
(4) 教科用図書の採択に関すること	—	○該当事項なし

### 3 学校教育の環境整備に関する事務

項 目	評価	活動内容 等
(1) 学校施設整備の推進	① 学校施設長寿命化計画に沿った学校施設等の計画・整備	A ○市内小中学校施設補修工事(1件10万円以上) 小学校施設補修:29件20,473千円 中学校施設補修:13件 6,561千円
	② 学校施設長寿命化計画の改訂	A ○松浦市学校長寿命化計画改訂版の作成(令和5年5月教育委員会定例会にて報告)
	③ 学校施設・設備に関する定期的な現地ヒアリングの実施	A ○予算編成時に各学校を巡回してヒアリング等を行い緊急性・実効性の評価判断に即した予算配分の実施
(2) 学習環境整備の推進	① 教育情報ネットワークセキュリティー対策及び統合型校務支援システム導入事業の実施	A ○統合型校務支援システム導入事業28,349千円(内訳) ・統合型校務支援システム導入に係る環境構築業務:26,158千円 ・その他導入諸経費、保守費 2,191千円
	② 新たなICT教育としてGIGAスクール構想の円滑な実施のための環境整備	A ○松浦市GIGAスクール運営支援センター(ヘルプデスク)業務委託 小学校 668千円、中学校 519千円
(3) 安全・安心な学校給食の提供	① 食物アレルギーによる事故件数0件の継続	A ○食物アレルギーについては、代替食等による対応を実施しており、年間を通じて事故報告なし。食物アレルギー対応マニュアルに則り、万全な対応をしている。 (R4アレルギー対応者) 松浦中央:26人、福島:7人、鷹島:1人
	② 調理場における異物混入等による事故件数0件の達成	A ○異物混入等による事故件数0件。 ・異物混入事案のうち、調理場内での異物混入が確認されたものは、10件(松浦中央6件、福島1件、鷹島3件)であったが、児童生徒の誤飲による身体への影響(事故)はなかった。

項 目	評 価	活 動 内 容 等
③ 松浦産食材・県内産食材の積極的な活用	A	<p>○地産地消については、食材の価格が高騰する中で、3調理場とも地元産米、野菜、魚類等、可能な限り県内産食材の購入に努めた。</p> <p>令和4年度は84.5%の割合となり令和6年度達成目標の77.1%に達し、県平均74.9%を上回った。</p>
(4) 教育委員会・総合教育会議の円滑な運営	① 教育委員会(定例会・臨時会)の審議活性化に向けた調査・研究の実施	<p>A</p> <p>○毎月の定例会の円滑な実施に努めた。</p> <p>開催場所については、市役所等のほか、中央公民館、鷹島公民館、福島公民館などで実施した。</p> <p>会議録を速やかに作成し、ホームページに掲載。会議内容の周知に努めた。</p>
	② 総合教育会議(年3回)の審議活性化に向けた調査・研究の実施	<p>B</p> <p>○「教育のまち 松浦」の確立に向けて、第1回は「これからの時代に求められる学力について」、第2回は「鷹島海底遺跡と元寇ゆかりの地等について」を協議項目として開催した。</p> <p>R4.8.31、R4.12.23</p>

#### 4 学校教育の推進に関する事務

項目		評価	活動内容等
1 確かな学力の育成	(1) 主体的・対話的で深い学びの実現による児童生徒の学力の向上	① 授業を磨き合う校内研修の推進	A ○全国学力調査学校質問紙調査「授業研究や事例研究等実践的な研修」において「よくしている」と回答した割合、( )は全国値 〔小学校〕 44.4% (54.4%) 〔中学校〕 85.7% (40.0%) ・本市小学校は全国に比べやや低いが、中学校は大きく向上 ・毎月の校長研修会や教頭研修会等において、授業研究を中心とした校内研究体制の充実及び授業改善の推進を指導。 ・児童生徒の支持的風土の醸成及び安全安心な学級づくりについて指導 ○研究主任対象の研修会(年2回)による学力向上対策を推進
		② 各種学力調査を生かした授業改善と家庭学習への連動	B ○全国学力調査児童生徒質問紙調査「授業内容がよく分かる」についての回答割合、( )内は本市前年度比 〔小学校〕 国語 78.2(-5.5)、算数 76.0(-8.2) 〔中学校〕 国語 79.0(-3.6)、数学 73.9(+5.8) ・小学校国語、算数及び中学校国語は、前年度を下回った。ここ数年減少傾向であった中学校数学が若干回復したが、市教育基本計画R6年度目標値(85%)には未到達 ○全国学力調査児童生徒質問紙調査「平日1日あたり何時間勉強をしますか」での「30分未満」の回答割合、( )内は全国値 〔小6年〕 16.2 (14.7) 〔中3年〕 21.0(13.4) ・中学3年生は5人に1人が30分未満で、指導改善を要する。 ○松浦市学力調査の同一集団経年比較において前年度より向上した学年を有する学校数 〔小学校〕国語 9校/9校、算数 9校/9校 〔中学校〕国語 4校/7校、数学 3校/7校 ・全国標準以上の正答率比較で中学校数学に課題有 ○学校指導訪問A訪問の実施 ・青島小中、福島養源小、調川中における教科指導力及び授業改善に関する指導(教科指導員による直接指導)を実施
		③ 研究指定校を中核とした研究の推進及び普及	A ○松浦市教育委員会研究指定校2校(鷹島小・志佐中)の研究推進及び市内外への研究成果の発表 ・新学習指導要領を具体化した授業改善の推進 ・志佐中学校〔令和5年 1月 17日研究発表会開催〕 ○県教育委員会研究指定(御厨中・鷹島小)の研究1年目の支援 ・授業改善及び学びの活性化につながる家庭学習の推進
		④ 小中学校9年間を通した外国語教育の充実	B ○「CEFR のA1レベル相当以上の英語力をもつ中学3年生の割合」 37.8%(公立中学校英語教育実施状況調査) ・前年度比プラス6.7%、教育振興基本計画R6年度目標値(60%)に近づく。※CEFR A1レベル相当=英検3級相当 ○「授業において発話の半分以上を英語で行う教員の割合」 100.0%(前年度 67.9%)(公立中学校英語教育実施状況調査) ・英語科担当教員の研修会等への積極的受講を指導 ・教育振興基本計画R6年度目標値(100%)を達成

	項 目	評価	活 動 内 容 等
	(2)ICT環境を活用した教育活動の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ICT機器・デジタル教科書を活用して授業を行うことができる教師の割合」(R4年度情報化実態調査より) ( )内は前年度値 〔小学校〕81.0%(83.5%)〔中学校〕84.3%(82.5%)</li> <li>・ICT機器(タブレット)を活用した授業は充実</li> <li>・不登校児童生徒等を対象とした遠隔授業等の取組が推進</li> <li>・AIドリルの活用とタブレット用いた家庭学習が推進</li> <li>・教育振興基本計画R6目標値100%をめざす</li> </ul>
2 豊 か な 心 の 育 成	(1)道徳教育の推進(教育活動全体・「考え・議論する」道徳科)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分にはよいところがあると思う(自己肯定感)」の肯定的回答 〔小学校〕78.8%、〔中学校〕74.5% (R4全学調「質問紙調査」より)</li> <li>○「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う(承認)」の肯定的回答 〔小学校〕88.3%、〔中学校〕88.6% (R4全学調「質問紙調査」より)</li> <li>○「道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」の肯定的回答 〔小学校〕83.3%、〔中学校〕89.2% (R4全学調「質問紙調査」より)</li> <li>・いずれも約8割近くが肯定的回答であり、前年度と同程度。</li> <li>・教育振興基本計画R6目標値100%をめざす</li> <li>○「長崎っ子の心を見つめる」教育週間の実施(16/16校)</li> <li>・生命尊重に関する校長講話の実施</li> <li>・道徳科授業の外部公開</li> <li>○市内一斉のオープンスクールは令和4年度内中止</li> <li>○松浦市子ども議会の開催(令和4年8月3日)</li> <li>・鷹島中学校が議長団校</li> <li>・市内全中学校7校が参加し質問を行う</li> </ul>
	(2)ふるさと教育の充実(探究的な学びとキャリア教育の推進)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ふるさと教育」年間計画に基づく実施校数 16校/16校</li> <li>・中学校区ごとの7年間(小3～中3)を見通した「総合的な学習の時間」の『ふるさと教育』年間指導計画に基づく実施</li> <li>○「キャリア教育」の実施校数 16校/16校</li> <li>・中学校職場体験学習の実施校数 7校/7校</li> <li>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職場体験学習の受け入れ先縮小や人数制限の影響有</li> </ul>
	(3)読書を通じた有用性(言語力・知識・感性・表現力・想像力)の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読書は好きですか」の肯定的回答(R4全学調「質問紙調査」より)</li> <li>( )内は前年度比 〔小学校〕72.1%(−0.1%)、〔中学校〕66.9%(−1.3%)</li> <li>・約7割近くが肯定的回答を得ている</li> <li>○蔵書率99.9%(R3年度95.1%)4311冊増</li> </ul>

項目		評価	活動内容等
3 健やかな体の育成	(1) 健康・安全教育の徹底	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「食育を学校行事の中で行っている」[12校/16校(75.0%)]</li> <li>○「食育を地域との関わりの中で行っている」学校数[13校/16校(81.3%)](R4学校運営調査より) <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育振興基本計画目標値(100%)に近づく</li> </ul> </li> <li>○「15歳児の永久歯のう歯保有者の割合」43.6%(前年度53.1%)(R4歯科疾病実態調査より) <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度より数値が良くなった。教育振興基本計画R6目標値(30%)に近づく</li> </ul> </li> <li>○通学路安全マップの活用校数(16校/16校)</li> <li>○交通安全指導、水難防止指導の実施校数(16校/16校)</li> <li>○避難訓練(火災・地震等想定)の実施校数(16校/16校)</li> <li>○通学路安全プログラムによる合同点検の実施小学校区[R4点検地区]志佐小、上志佐小、調川小、今福小学校区</li> </ul>
	(1) 健康・安全教育の徹底	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「朝食を毎日食べている」児童生徒の割合[小学校]95.5%(-1.8%)、[中学校]94.3%(-0.4%)(全国学力調査「質問紙調査」より)( )内は前年度比 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度より数値は若干下回ったが、教育振興基本計画R6年度目標値(95%)を、小学校は達成、中学校もほぼ達成</li> </ul> </li> <li>○リーフレット「松浦っ子のよりよい成長のために」の活用校数(16校/16校)</li> <li>○松浦市学校保健大会の開催(令和5年2月25日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者111名</li> <li>・講演会「愛着形成への支援～メディア利用による子への影響」(山の手クリニック院長 中谷 晃氏)</li> </ul> </li> </ul>
	(2) 体育及び武道指導の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市中体連球技・武道大会、陸上競技大会、駅伝大会、小学校陸上競技大会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため入場制限有</li> <li>・県中総体での成績上位者生徒8名(陸上競技1名、水泳競技2名、ソフトテニス競技2組4名、柔道競技1名)が九州大会に出場</li> </ul> </li> <li>○各校の運動会、体育大会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため午前中開催(昼食無し)、来場者数の人数、対象の制限有</li> </ul> </li> <li>○体育の授業改善「アクションプラン」作成(16/16校) <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上、運動習慣の機会拡充</li> </ul> </li> <li>○「なぎなた指導者スペシャリスト」事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校4校の生徒への武道(なぎなた)指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>※残りの中学校へは出前講座を活用し指導者派遣</li> </ul> </li> <li>・「なぎなたのまち松浦」づくりの啓発、推進</li> </ul> </li> <li>○「なぎなた指導者講習会」の実施(令和4年9月16日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校保健体育科担当者を対象に実施。(夏季休業中の開催を平日開催)</li> </ul> </li> </ul>



項目	評価	活動内容等
4 児童生徒の学びを支える学校づくり	B	<p>○R4年度の全児童・生徒数に対する不登校の割合、( )内は前年度値  [小学校]15人 1.3%(0.5%増) [中学校]38人 6.6%(4.9%増)  [全体]53人 3.0%(2.0%増)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育振興基本計画R6年度目標値[全体]0.6%未達成</li> <li>・令和4年度の不登校は過去最高人数(前年度比1%増)</li> <li>・リーフレット「Stop the 不登校」の活用校数(16校/16校)</li> <li>・学習規律、支持的風土の醸成の研修会の実施</li> <li>・教科担任制導入の促進、検証、啓発</li> </ul>
(2)子供の心と向き合う教育相談体制の充実	A	<p>○「いじめ問題の解消率」 85.7%(前年度 100%) (R4問題行動・不登校等調査結果より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育振興基本計画R6年度目標値(70.0%)は達成</li> </ul>
(3)特別な配慮を要する児童生徒への支援体制の充実	A	<p>○5歳児健診からの就学支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て・こども課との連携による就学支援</li> <li>・幼稚園、保育所等の訪問実施</li> <li>・就学前の保護者との面談及び就学支援</li> <li>・就学前の個別の教育支援計画の作成と小学校へ引継ぎ</li> </ul> <p>○「個別の教育支援計画」作成率  [就学前] 100% [就学後] 100%</p> <p>○通級指導教室の設置及び充実</p> <p>[小学校]御厨小、志佐小、調川小、福島養源小の4校に設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小学校8校から、児童68名(R3年度74名)が通室</li> <li>・学習支援や特性に応じた効果的な指導</li> </ul> <p>[中学校]御厨中、志佐中の2校に設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中学校6校から、生徒26名が通室</li> <li>・学習支援や特性に応じた効果的な指導及び進路、進学先に応じた支援ができた。</li> </ul> <p>○教育支援員の配置及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員を23名配置 [配置率] 98%  ※配置率=現員数/配置要望数</li> <li>・配置に当たり、学校からの情報収集(児童生徒の特性や教育支援員要望数他)を行い、適正な配置に努めた。</li> <li>・学校指導訪問において、教育支援員の配置効果(対象児童生徒の生活上の安定及び全般的な変容)を聞き取り、教育支援員の適正配置及びきめ細かな支援の状況を把握し、教育的効果がみられることを確認した。</li> <li>・教育支援員対象の研修会を開催し、特別支援教育の視点及び児童生徒の困り感に応じた適切な支援方法等について、指導教諭からの講義や助言、情報交換等を行い、教育支援員の資質向上に努めた。</li> </ul>

項目		評価	活動内容等
5 教 職 員 の 資 質 向 上	(1)働き方改革の実現による教職員の志気の向上	B	○1か月あたり80時間超過勤務教職員数 延べ8名(R3年度4名) ・1か月あたり80時間超過勤務ゼロを目指した教職員指導 ・ノ一部活動デー、部活動休養日、定時退勤日の完全実施 ・在校等時間の自己管理にかかる教職員の意識改革
	(2)「長崎県 教員等としての資質向上に関する指標」を踏まえた資質の向上	A	○「長崎県 教員等としての資質向上に関する指標」の活用 ・校長研修会、教頭研修会、中堅教員研修会他 ○長崎大学大学院教授を招聘した教職員研修 ・授業づくり研修会(研究主任研修会) ・授業づくり研修会(英語科担当教員研修会) ○新学習指導要領の浸透と教職員の資質向上 ・授業づくり研修会の充実(若手教員の育成) ・学校訪問における授業視察、校内研究会への指導主事派遣 ・県及び県教育センター主催の研修会等の受講促進 ・中央研修への教職員の計画的派遣
	(3)全ての教職員に求められる特別支援教育に関する専門性の向上	A	○新たな人事評価制度における校長面談を通じた指導 ・学校経営における特別支援教育の推進 ・個別の支援を要する児童生徒への組織的対応 ・特別支援教育コーディネータの活用 ・校内教育支援委員会開催 ○特別支援教育の研修会の充実と関係機関との連携 ・市特別支援教育コーディネータ連絡協議会他 ・県立佐世保特別支援学校及び各種関係団体との連携
6 学 校 ・ 家 庭 ・ 地 域 の 連 携 ・ 融 合 の 強 化	(1)コミュニティ・スクールの推進	A	○コミュニティ・スクール・地域学校協働本部の設置 ・R2上志佐小学校、R3福島養源小学校・福島中学校に続き、R4は鷹島小・鷹島中学校と調川小・調川中学校に設置 ※今福小・今福中学校はR5の予定 ・新型コロナウイルス感染症のため活動自体は低調 ○「みんなでオープンスクール」の中止 ・新型コロナウイルス感染症のため、不特定多数の来校者を回避するため、市内一斉での取組は中止 ○地域・保護者と連携した学校行事等の縮小や自粛 ・地域の人、物、事を活用した行事の見直しや縮小 ・対面式活動の中止、時間短縮及び外部参加人数の制限
	(2)校種間及び関係機関の緊密な連携(幼保、小、中、高、子育て・こども課)	A	○新型コロナウイルス感染状況に応じた各機関等の連携 ・小・中合同学校支援会議 ・生徒指導上の小・中学校間の情報交換や学力向上に伴う小・中学校間の授業研究会 ・小、幼保連携の行事(入学体験・説明会) 他
	(3)少子化に対応した活力ある学校づくり	A	○松浦市学校適正配置等検討委員会の開催及び答申の受理

## 5 社会教育の推進に関する事務

項 目	評価	活動内容等
(1) 学校・家庭・地域の連携強化	① 学校・家庭・地域が連携した教育活動の推進  A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会教育委員会は、コロナ禍により中止した。</li> <li>○3校目のコミュニティ・スクールとなった鷹島小・中学校区における地域学校協働活動推進員の人選を進めた。</li> <li>○市青少年健全育成連絡協議会、各地区青少年健全育成組織、市少年センター補導委員連絡協議会、市地域婦人会連絡協議会、市PTA連合会への支援（補助金交付）を行った。</li> <li>○子ども会員への全国子ども会安全共済会への加入奨励（補助金交付）を行った。</li> <li>○県PTA研究大会松浦大会への支援（補助金交付）を行った。</li> <li>○市青少年健全育成連絡協議会、市子ども会育成会連絡協議会、市少年センター補導委員連絡協議会の事務局業務を担った。</li> <li>○少年センター運営協議会を1回開催した。</li> <li>○少年センターにおいて、青少年に関する95件の相談に応じ、解決に向けて学校、家庭、地域、関係機関（警察、子育て・子ども課等）と連携した。</li> <li>○少年センターにおいて、子どもたちへの声かけ、補導（青色回転灯装備車（少年センター専用車）によるパトロールを含む。）を、警察、市少年センター補導委員連絡協議会、市青少年健全育成連絡協議会等と連携して実施した。</li> <li>○少年センターだよりを毎月発行した。</li> <li>○市内9地区全ての地区青少年健全育成組織にココロねっこ推進員1人を、市青少年健全育成連絡協議会にココロねっこ指導員4人を配置した。</li> <li>○青少年健全育成指導者研修会（兼 ココロねっこ指導員講習会）を開催した。</li> <li>○7月、11月の2回、有害図書等に関する立入調査を実施した。</li> <li>○白ポストを2か所（志佐、今福）に設置し、有害図書等を回収した。</li> <li>○メディア安全指導員の活用は、コロナ禍により実績がなかった。</li> <li>○日本財団 海ノ民話のまちプロジェクトを受託し、青島の民話「長者と河太郎」のアニメDVDを作製した。</li> </ul>

項 目	評価	活動内容等
	② 家庭教育の充実	<p>A</p> <p>○市立公民館（8館）の一部、市立図書館（2館）の主催講座、連携講座として、読み聞かせを開催した。</p> <p>○ながさきファミリープログラムファシリテーターの活用は、コロナ禍により実績がなかった。</p>
	③ 放課後の子どもの居場所づくりの推進	<p>A</p> <p>○各公民館の主催講座として、全ての公民館において、地域子ども教室をのべ83回開催し、のべ955人が参加した。</p> <p>○放課後児童クラブ（学童保育）のスペースとして、上志佐公民館の一室を供用した。</p>
(2) 生涯にわたる学びのサポート	① 生涯学習体制の充実	<p>A</p> <p>○まつうら出前講座ボランティア編への講師募集を行い、19件の応募、登録があった。</p> <p>○まつうら出前講座において、ボランティア編37件（617人）、行政編100件（1,790人）の活用があった。</p> <p>○公民館運営審議会を1回開催した。</p> <p>○市ホームページにおいて、イベント、講座をはじめとした社会教育、スポーツに関する各種情報を周知した。</p>
	② 生涯学習施設の整備	<p>A</p> <p>○社会教育施設（文化会館、公民館8館、図書館2館、少年センター、勤労青少年ホーム）の適切な管理運営に努め、必要な整備（工事、修繕）を実施した。</p> <p>主なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労青少年ホーム空調機器一式</li> <li>・文化会館ゆめホール音響調整卓取替等修繕</li> <li>・生涯学習センター照明設備改修工事</li> <li>・鷹島公民館陶芸室撤去工事</li> </ul> <p>○自治公民館の整備（6地区）への支援（補助金交付）を行った。</p>
	③ 生涯学習機会の提供	<p>A</p> <p>○各公民館において、各種主催講座を開催した。（地域子ども教室を含む。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館 67回、611人</li> <li>・今福公民館 89回、2,949人</li> <li>・調川公民館 103回、1,004人</li> <li>・上志佐公民館 58回、513人</li> <li>・御厨公民館 74回、1,270人</li> <li>・星鹿公民館 78回、1,031人</li> <li>・福島公民館 117回、1,311人</li> </ul>

項 目	評価	活動内容等
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鷹島公民館 88回、557人 計 674回、9,246人</li> <li>○各公民館において、公民館まつり等を開催した。</li> <li>○各公民館だよりを毎月発行した。</li> <li>○各公民館の利用状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館 2,600回、14,939人</li> <li>・今福公民館 1,658回、10,022人</li> <li>・調川公民館 973回、4,306人</li> <li>・上志佐公民館 459回、3,945人</li> <li>・御厨公民館 629回、7,611人</li> <li>・星鹿公民館 298回、4,408人</li> <li>・福島公民館 466回、3,386人</li> <li>・鷹島公民館 345回、4,133人</li> </ul> </li> <li>計 7,428回、52,750人</li> <li>○二十歳の式（従前の成人式）を挙行し、二十歳の者 230人のうち 160人が出席した。</li> </ul>
④ 人権教育の推進	A	○人権啓発映画上映会を開催し、230人が参加した。
⑤ 図書館運営の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和4年度末蔵書数 市立図書館 132,032冊 福島図書館 27,341冊</li> <li>○令和4年度末貸出冊数 市立図書館 96,996冊 福島図書館 3,355冊</li> <li>○令和4年度入館者数 市立図書館 22,981人 福島図書館 1,994人</li> <li>○図書館協議会を2回開催した。</li> <li>○図書館だよりを毎月発行した。</li> <li>○市ホームページにおいて、図書館に関する各種情報を周知した。</li> <li>○ボランティア団体との協働による読み聞かせや図書館運営の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>【市立図書館】</li> <li>・乳幼児から児童を対象とした図書館での読み聞かせの実施（4回/月）44回 のべ258人参加</li> <li>・あおぞらとしょかん 4/23 3人 (ボランティア1人)</li> <li>・ハロウィンカード配布 10/22～10/30 配布枚数 50部</li> <li>・まつぼっくりのクリスマスツリーづくり 12/8 2人</li> </ul> </li> <li>○本・図書館に興味を持たせる為の企画・行事の実施</li> </ul>

項 目	評価	活動内容等
		<p><b>【市立図書館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名作復刻集展 4/12～5/31</li> <li>・利用者カードお直し会 4/23～5/12 8人、 10/22～11/6 4人</li> <li>・本の福袋（おまけつき）4/23～5/5 貸出 20セット</li> <li>・きらきら号にのってみよう 4/29（雨天のため 中止）</li> <li>・体験！1日図書館員 8/6 2人</li> <li>・工作教室「モバイルづくり」 8/7 4人</li> <li>・たんじょうびを調べて新聞を作ってみよう！ 8/11（木）1人</li> <li>・私の本棚 9/23～（展示 10/25～11/30）1人</li> <li>・本活！ 10/22～11/6</li> <li>・読書週間啓発ポケットティッシュ配布 10/22～11/5 130個配布</li> <li>・ライブラリーフロアコンサート オカリナとピ アノにつつまれて 11/6 30人</li> <li>・バリアフリー上映会「くちびるに歌を」12/4 9人</li> <li>・本の福袋 1/5～1/31 貸出10セット</li> <li>・上映会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>*子供向け上映会 8・9月を除く毎月1回 （土曜日）</li> <li>*としょかんシネマスペシャル 4/30 9人</li> </ul> </li> <li>・家読活動推進事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>*五感で楽しむ夜の図書館 ピアノとコーヒー とおしゃべりと 6/25 13人</li> <li>*リズムがいっぱい！おはなし会とおんがく会 10/30 20人</li> <li>*似顔絵 art-TANO さんののがおえ講座 11/3 15人</li> <li>*西之島・噴火・海鳥・淤能碁呂絵巻 3/19 78人</li> </ul> </li> <li>・読書のカタチが選べるプロジェクト事業（企業 版ふるさと納税の活用事業） 通年</li> </ul> <p>○小中学校の図書館担当職員との連携強化</p> <p>○移動図書館車によるサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館車における貸出冊数 36,535冊</li> <li>・移動図書館車の更新 <ul style="list-style-type: none"> <li>*新・移動図書館車デザイン画募集 7/20～ 8/30 応募23人</li> <li>*新・移動図書館車披露式 2/28</li> </ul> </li> </ul>

項 目	評価	活動内容等
		<p>○まちづくり、情報発信機能としての図書館サービスの充実</p> <p><b>【市立図書館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すきスキだーいすき事業（子育て・こども課との共同事業）6・11・2月を除く各月</li> <li>・国指定10周年 てつほう展示（文化財課共催）4/13～5/31</li> <li>・出前講座（まつうら出前講座行政編『絵本の読み聞かせ』） 御厨公民館講座（対象／老人会）8/17 17人</li> <li>・木育キャラバン in 松浦 絵本コーナー（松浦市主催）2/11～2/12</li> <li>・映画「ケアニン」上映会&amp;ワンポイント介護講座 2/20 56人（長寿介護課共催）</li> <li>・西九州させば広域都市圏図書館相互スキルアップ事業 松浦市担当回の実施</li> </ul> <p>必要な情報を手に入れるプロのコツ 11/13 41人</p> <p>○図書館活動への理解や教育活動支援のための職場体験や研修活動、見学の受入</p> <p><b>【市立図書館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生職場体験 3校（6人）</li> <li>・長崎県立学校教職員 社会体験研修（2人）</li> <li>・小学校社会科見学 5校（110人）</li> <li>・保育所社会見学 1園（15人）</li> </ul> <p><b>【福島図書館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校社会科見学 1校（16人）</li> <li>・中学校調べ学習 1校（8人）</li> </ul>
⑥ 人的交流事業の推進	A	<p>○北海道鷹栖町、北海道福島町、長野県木曾町との相互交流事業を3年ぶりに実施した。</p> <p>○国際教育・活動支援員1人を任用し、国際交流、国際教育を支援した。</p> <p>○松浦・マッカイビル・モロイ杯 English スピーチ・コンテストを開催した。</p> <p>○オーストラリアデー・イベントを開催した。</p> <p>○市国際親善協会への支援（補助金交付）は、コロナ禍により姉妹都市マッカイ市との相互交流事業が中止となったため、行わなかった。</p> <p>○市国際親善協会の事務局業務を担った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッカイ市との相互交流事業は、コロナ禍により中止した。</li> </ul>

項 目	評価	活動内容等
		代替として、市内の中学 2・3 年生を対象とした English Day for Youth を開催した。 ・市内企業に勤務する海外技能実習生を対象とした Japanese Day を新規事業として開催した。
(3) スポーツ・レクリエーション活動の推進	① スポーツ施設の整備・充実	A ○スポーツ施設（スポーツセンター、市民運動公園、武道館、野球場、福島総合運動公園、鷹島総合運動公園、鷹島スポーツ・文化交流センター、地域運動場（2 か所）、上志佐小学校夜間照明施設、旧学校体育館（4 館））の適切な管理運営に努め、必要な整備（工事、修繕）を実施した。 主なもの ・福島体育館気中開閉器更新 ・御厨地域運動場照明設備修繕
	② スポーツ・レクリエーション事業の充実	A ○各種スポーツ大会、行事を開催した。 ・第 17 回市民体育大会 10 競技、998 人参加 ・第 73 回県民体育大会 9 競技、207 人参加 ・令和 4 年度郡市対抗県下一周駅伝代替駅伝大会 21 人参加 ・武道始め式 63 人参加 ・第 18 回市民駅伝大会 450 人参加 ・第 6 回なぎなた青島練成会 コロナ禍により中止 ○屋内施設利用者数（文化会館を除く。） 40,108 人 ○屋外施設利用者数 60,050 人
	③ スポーツ指導者の育成	A ○ニュースポーツに関する出前講座を、スポーツ推進委員（総員 34 人のうち）により 29 回、生涯学習課職員により 30 回開催した。
	④ スポーツ・レクリエーション活動の支援	A ○市スポーツ協会、福島町一周駅伝大会実行委員会、県下一周駅伝大会、同大会出場チームへの支援（補助金交付）を行った。 ○文化・スポーツ振興基金事業補助金（スポーツ部門）を 29 件交付した。 ○文化・スポーツ功労表彰（スポーツ部門）を 11 個人、3 団体に対し行った。 ○市スポーツ協会、市スポーツ少年団、市スポーツ推進委員協議会の事務局業務を担った。



項 目	評価	活動内容等
(4) 文化財の保護と文化芸術活動の推進	① 文化芸術活動の推進 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民文化祭（作品展示）を開催し、472 点の出品と 1,009 人の来場があった。</li> <li>○市民文化祭（舞台発表）を開催し、19 団体の出演と 354 人の来場があった。</li> <li>○文化会館自主事業として、指定管理者により 9 つの事業が開催された。</li> <li>○文化会館利用者数 51,968 人</li> <li>○市文化協会、県展実行委員会への支援（補助金交付）を行った。</li> <li>○岡部耕大演劇松浦公演実行委員会への支援（補助金交付）を行った。</li> <li>○文化・スポーツ振興基金事業補助金（文化部門）を 2 件交付した。</li> <li>○文化・スポーツ功労表彰（文化部門）を 4 個人に対し行った。</li> </ul>

## 6 文化財の推進に関する事務

項 目	評価	活動内容等
(1)文化財の保存と活用	①文化財の指定と保全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国指定史跡鷹島神崎遺跡防犯・防災パトロールを実施した。</li> <li>○市指無形民俗文化財「星鹿ジャンガラ」、「牟田ジャンガラ」の説明板を設置した。</li> <li>○県指定史跡「松浦党梶谷城跡」景観対策事業として樹木の伐採を行った。</li> </ul>
	②文化財を活用したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財保存活用地域計画策定事業を実施し素案の策定を行った。</li> <li>○旧長醫家住宅主屋の清掃を市役所御厨・星鹿地区職員のボランティアによる協力を得て実施した。台風被害による破損があり一般公開は実施できなかった。</li> <li>○姫神社遺跡の試掘調査を行った。</li> </ul>
	③国史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画の具現化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保存管理計画における中期(10年)目標へ向けた取組を実施した。</li> <li>○ガバメントクラウドファンディングを活用し、一石型木製いかり引き揚げ事業を実施した。</li> <li>○モニタリング調査を3回実施した。</li> <li>○鷹島海底遺跡調査指導委員会及び保存処理専門部会を開催し、遺物の保存処理等で意見と指導を受けた。</li> <li>○九州歴史資料館と連携し、出土遺物のX線CT調査を実施した。</li> <li>○出土遺物台帳整備事業を実施し、データベース入力等を行った。</li> <li>○鷹島海底遺跡出土遺物の保存処理を実施し、木製品等の強化処理を行った。</li> </ul>
(2)文化財の情報発信	①文化財の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大型木製いかり展示シートを製作した。</li> <li>○SNSを活用し、埋蔵文化財センターの活動情報等を発信した。</li> <li>○一石型木製いかり引き揚げ見学ツアーを実施し、2日間で34名の参加があった。</li> <li>○一石型木製いかりの調査状況を動画やパネル等を用いて公開した(水軍まつり、県PTA連合会研究大会)。</li> <li>○長崎県主催(市共催)「わくわく！！水中考古学体験講座in鷹島」を開催した。大学・大学院生や自治体職員、現地28名、リモート20名の参加があった。</li> <li>○博物館等の展示に遺物の貸出しを行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州国立博物館平常展</li> <li>・福岡市博物館常設展示</li> <li>・福井洞窟ミュージアム常設展示</li> <li>・宮崎県立西都原考古博物館特別展「飛び道具の技術</li> </ul> </li> </ul>

項 目	評価	活動内容等
		<p>文化史 ～旧石器時代から西南戦争まで～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広島県立歴史博物館「考古学講座」に講師として職員を派遣した。</li> <li>○「平戸地区高齢者のつどい」において「鷹島神崎遺跡とわかり引き揚げについて」と題し講演を行った。</li> <li>○「松浦こども博」に参加し、バーチャル水中考古学ブースを設けPRを行った。</li> <li>○福岡事務所主催した「アジフライパーク(福岡市)」において、文化財トークショーに職員を派遣した。</li> <li>○企業版ふるさと納税の寄付金を活用し、カプセルトイを製作した。</li> </ul>
②歴史文化に親しむ 機会の提供	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験学習会等各種講座を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財センター体験学習(鷹島中、志佐中、今福小、福島養源小、御厨小、調川中)</li> <li>・出前講座(志佐小、教職員等初任者研修、商工会女性部北部地区、松浦文化協会)</li> <li>・鷹島小学校「水中考古学クラブ」</li> <li>・鷹島公民館講座「水中考古学教室」</li> <li>・職場体験(調川小教諭)</li> <li>・水考研特別顧問池田教授講演(松浦高校)</li> <li>・壱岐高校島外巡研</li> </ul> </li> <li>○埋蔵文化財センターにおいて企画展を2回開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「鷹島海底遺跡パネル展」</li> <li>・「イカリ・碇・掟・錨! ? ～IKARI～ 展」</li> </ul> </li> <li>○埋蔵文化財センターの入館者数は、5,216人(前年度比86.0%の伸び率)であった。</li> </ul>
③水中考古学の拠点 を目指すための普及・啓発活動	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長崎県及び長崎県議会に対し「鷹島神崎遺跡の保存と活用について」と題し、研究機関の設置等について要望した。</li> <li>○文部科学大臣に対し「鷹島神崎遺跡の保存と活用について」の要望を行った。</li> <li>○文化庁主催「水中遺跡シンポジウム 水底のヒストリア」でポスター展示を行った。併せて、関連グッズ等の販売も行った。</li> <li>○文化庁主催「埋蔵文化財担当職員等講習会(佐世保市)」において報告を行い、現地見学を受け入れた。</li> </ul>
(3)伝統文化の保存と継承	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市指定無形民俗文化財の継承及び公開に努めるため保存会等へ助成を行い保存・継承に努めた。</li> <li>○市指定無形民俗文化財が新型コロナウイルス感染症予防のため、中止や縮小による開催となり、十分な意見交換ができなかった。 和船競漕(せいぐろ)【中止】・田ノ平浮立【縮小】・牟田ジ</li> </ul>

項 目	評価	活動内容等
		ヤンガラ【縮小】・星鹿ジャンガラ【中止】 ○市指定無形民俗文化財「百手講」を映像で記録した。

## 7 総合評価

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会は毎年、教育行政の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することが規定されました。この法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するため令和4年度の施策について「自己点検・評価」を実施しました。

コロナ禍において一部行事等の中止や縮小、リモート開催などあったものの、工夫をしながらの行事实施等、コロナ禍前の日常への回復傾向も見られた中で、結果、令和4年度も各施策の実施については概ね順調に進捗している状況が確認できました。

今後におきましても「第2期松浦市教育振興基本計画(令和2年度～令和6年度)」に基づく教育行政の推進に努めてまいります。